

1 題材名 音楽の構造をとらえて

2 題材目標

- (1) 「ボレロ」の曲想と音楽の構造との関わりや音楽の特徴と作曲された背景などについて理解する。
(知識及び技能)
- (2) 音色、リズム、旋律、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。
(思考力、判断力、表現力等)
- (3) 「ボレロ」の曲想と音楽の構造に関心を持ち、魅力等について他者と対話することを通して、学習を楽しみながら、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組むとともに、オーケストラの響きと楽曲分析に親しむ。
(学びに向かう力、人間性等)

3 本題材で扱う学習指導要領の内容

第2学年 B 鑑賞 ア(ア)、(イ)、イ(ア)(イ)

〔共通事項〕(1)

(本題材において、生徒の思考・判断のよりどころとなる主たる音楽を形づくっている要素：「音色」、「リズム」、「旋律」、「構成」)

4 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>知① 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。</p> <p>知② 「ボレロ」の特徴と作曲された背景などについて理解している。</p>	<p>思① 音色、リズム、旋律、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考える。</p> <p>思② 生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</p>	<p>態 「ボレロ」の曲想と音楽の構造に関心を持ち、魅力等について他者と対話することを通して、学習を楽しみながら、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>

5 題材について

(1) 教材観

「ボレロ」は楽曲全体を通して、二つの旋律が交互に現れ、同じリズムが繰り返されている。単純なように思える音楽の構造には様々な工夫が盛り込まれており、聴く人を惹きつける魅力のある楽曲である。

(2) 生徒観

本学級の生徒は、音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら聴くことについて、捉えられる生徒が多い。しかし、曲想と音楽の構造との関わりについて考え、聴きとった音楽が自分にとってどのような価値があるのかについて評価することには課題が見られた。

(3) 指導観

指導に当たっては、本題材を学習することにより、音楽の構造を捉えるために楽曲分析のための楽譜の提示を行う。それにより、音楽を形づくっている要素について視覚的に確認できるようにする。また、学びをつなぐ学習活動として、ICTを活用し生徒の学習状況に合わせて鑑賞したり、楽譜を確認したりする。生徒が音楽の構造を的確に捉え、他者と対話し自分の感じ方を広げることで、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができる生徒の育成につなげたいと考え、本題材を設定した。

6 題材の指導計画（4時間扱い）

○は「指導に生かす評価」、◎は「記録に残す評価」を示す。

次	時	学習内容・活動	知	思	態	評価方法、留意点等
1	1	<p>目標：「ボレロ」における音楽の構造について理解する。</p> <p>1 本時の課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>課題 「ボレロ」の音楽の仕組みはどうなっているのだろう。</p> </div> <p>2 楽譜から音楽の構造に迫る。 (1) 楽譜からリズム、旋律、強弱等の読み取り方について確認する。 (2) グループで、二つの旋律を色分けする。 主題 A：ピンク 主題 B：黄色 (3) 二つの旋律の規則性や、リズム、強弱等から曲の特徴について考える。</p> <p>3 全体で共有する。 (1) グループごとに気が付いた点を発表する。 (2) 気が付いた点をまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>まとめ ・最初から最後まで同じリズムで演奏され、二つの主題（旋律）交互に現れている。 ・曲全体を通して壮大な強弱がついており、様々な楽器が旋律を演奏している。</p> </div> <p>4 本時の振り返りを行い、次時の学習につなげる。</p>				<p>・歌唱の歌唱表現の工夫や、曲の形式等の既習学習と課題への思考がつながるように復習する。</p> <p>知①：リズムや強弱、旋律、構成の特徴について捉えているか見取る。戸惑っている生徒には、楽譜を図形として考えるよう助言する。【聴取、観察】</p> <p>◎ 態：楽譜の見方について、戸惑っている生徒には個別に説明する。【聴取、観察】</p> <p>・他者の考えと自分の考えを比較できるようにする。</p>
	2	<p>目標：「ボレロ」の曲想と音楽の構造の関わりについて考えている。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>課題 「ボレロ」はどんな感じの曲だろう。</p> </div> <p>・曲を聴いて「ボレロ」の特徴を捉える。 ・曲想と音楽の構造を結び付ける。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>例：この曲は冷たい感じから、温かい感じへと変化している。なぜならば、最初から最後まで同じリズムの中で様々な楽器が、旋律を演奏しているからである。</p> </div>				<p>思①：曲想と音楽の構造を関わらせて書くことができているかを見取る。なかなか書き進められない生徒には、率直にどう感じたかを問い、その理由について楽譜から導きだせるようにする。【ワークシート、観察】</p> <p>知①【ワークシート、観察】</p>

3	<p>目標：ポレロの曲の価値について考えている。</p> <p>課題 なぜ「ポレロ」は初演当時、賛否両論となってしまったのだろうか？</p> <ul style="list-style-type: none"> 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史から、この曲のよさや美しさについて考える。 他者と意見を交流する。 <p>例：私は「ポレロ」が賛否両論となってしまった理由として、当時の人々にとって、今まで聴いてきたドラマチックな曲やリズムと違い、聴いているのと同じ旋律を繰り返しているのだから、もっとなんか変えたいな、と感じたからだと思います。また、様々な楽器の生かして演奏されているが、イメージが沸きづらいため、もう少し、強弱に変化が見られるといいな、と思います。</p>		<p>態：他者と対話する際に、自分の考えを相手に伝え、また相手の意見を深められるよう、ポイントを伝える。【聴取、観察】</p> <p>知②：つまづいている生徒には、初演当時の人々の思いについて、再度、個別に伝える。【聴取、観察】</p> <p>思①：つまづいている生徒には、前時の学習の要点を伝え、「ポレロ」の特徴を捉えることができるようにする。【聴取、観察】</p> <p>思①【ワークシート、聴取】</p> <p>知②【ワークシート、聴取】</p>
4 本時	<p>目標：ポレロのよさや美しさを味わっている。</p> <p>1 本時の課題を確認する。</p> <p>課題 「ポレロ」が今まで残っているのは、どんな仕掛けがあるからだろうか？</p> <p>2 「ポレロ」の魅力に迫る。 (1)楽譜と照らし合わせながら「ポレロ」を鑑賞し、復習する。</p> <p>3 自分の考えをワークシートにまとめ、他者と交流する。</p> <p>例：この曲は二つの主題が様々な楽器で演奏され、入れ替わりながら演奏されます。何度も繰り返される旋律の美しさやリズムにより、強いインパクトがあり、耳に残ります。様々な楽器の音色で演奏され、後半は重厚な響きとなり、壮大に曲が終わるので、聴く人を惹きつけるからです。</p> <p>4 4時間の授業を通して学んだことを振り返り、自分にとっての価値についてまとめる。</p>		<ul style="list-style-type: none"> 現在、「ポレロ」が使用されている場面の映像等を導入で使用することで、今もこの曲が生活の中で大切にされていることに気付かせる <p>思②：なかなか書き進められない生徒には、タブレット等の音源を用いて、主題AとBの旋律は変わらないが、他の部分（強弱、音色）がどのように変化しているかについて、考えられるようにする。</p> <p>思②【ワークシート、聴取】</p> <ul style="list-style-type: none"> 他者の意見に耳を傾けたり、客観的な理由を基に自分の考えを述べたりすることで、思考を深められるようにする。 <p>態【聴取、観察、振り返りカード】</p>